

第164回細胞生物学セミナー 総合生命科学部 生命科学セミナー

演者： 稲田 利文 先生（東北大学大学院薬学研究科）

日時： 2014年3月24日（月）16:00～17:30

場所： 京都産業大学総合生命科学部15号館1階 15102セミナー室
<http://www.kyoto-su.ac.jp/access.html>

演題：リボソームをハブとしたmRNAとタンパク質の品質管理機構



正確な遺伝子発現は生命現象の根幹であり、その破綻や異常は様々な疾患の原因となる。異常なmRNAとタンパク質が品質管理機構により認識・排除されることで、遺伝子産物の恒常性が維持される。最近我々は、リボソームをプラットフォームとしてmRNAとタンパク質の品質管理機構が密接に関係することを見出した。

本セミナーでは、①異常翻訳の認識機構と②異常mRNA由来の新生鎖の分解促進機構について、新規ユビキチン化因子の機能を中心に最新の知見を紹介したい。

世話人：京都産業大学総合生命科学部 永田和宏(705-3134)(内線:9399)

共催：京都産業大学総合生命科学部、CREST・JST